



利用者が増え、手狭になった放課後児童クラブ結教室

質問

てぜま
手狭になった放
課後児童クラ
ブの今後は？

回答

早急に対応し
ます
「町長

質問

放課後児童クラブは、就労等で昼間留守になる家庭の児童に対し、児童の健全な育成や安全確保を図るため、遊びや生活の場を提供する施設です。当町では、名森教室と結教室を、平成15年4月に1年生から3年生を対象にスタートしました。以降、平成18年には6年生まで拡大し、平成20年7月に

一般質問



町長 碓井 昭夫
うすい あきお

は夏休み期間中、三校の児童を一か所で預かる「サマースクール」も開設され、就労と子育て支援の充実を図り好評を得ています。当初の結教室は「伊八会館」を利用していましたが、平成18年に手狭になったことと、学校行事との兼ね合いで「結の郷」に移転となりました。

当初の児童数は8人で、平成18年には44人、今年度は63人もの児童が利用し、教室は手狭になっています。加えて、「サマースクール」教室は、結地区から程遠く、送迎に不便さを感じています。開設当時は13人であったのに、現在では80人の児童が利用し、ここでも手狭になっています。小中学校の施設は耐震性も

問題ないと聞いていますが、「結の郷」は築後40年が経過し、老朽化も著しく、手狭にもなっています。安全で安心して利用できる整備計画について、また、結地区の児童クラブの拡張と「サマースクール」の開設など、今後の方向性についてお考えをお伺いします。

回答

放課後児童クラブ結教室は、保護者のニーズも高まり、児童数も年々増加しています。来年度の利用希望者は、今年度を上回る見込みであり限界に近づきつつあります。サマースクールも同様で、利用者は増加の傾向であり、遠方からの送迎が不便であるとの声もあります。

放課後児童クラブは「子ども・子育て関連3法」において、子育ての支援充実、待機児童の解消、質の高いサービスの提供など、重要な位置づけとなっています。未来ある子どもたちが、快適な環境で、保護者が安心して預けられる施設となるよう早急に対応します。サマースクールについては、結教室に併設するなど考慮し、「安八町第四次総合計画」「安八町次世代育成支援計画」にも重点に位置付けて「子どもたちの歓声の上がる町」づくりに取り組んでいきます。